

山形大学生に読んでほしい本30選！

1 ▶ 8 ふすま同窓会 推薦

9 ▶ 18 地域教育文化学部同窓会 推薦

14 ▶ 20 一般社団法人米沢工業会 推薦

21 ▶ 24 鶴窓会 推薦

25 ▶ 30 学長 玉手英利 推薦

1	ひかり北地に	人文社会科学部理理学部の前身である旧制山形高等学校時代の青年の姿を描いたもの、現代と違う学生生活だが、山形市民に愛され期待された山形高等学校生の姿である。大学の歴史の一端としても読んで欲しい。著者は、ふすま同窓会員。「高安犬物語」で、直木賞を受賞。
	戸川 幸夫 著 東日本出版社	

2	山形へ帰る旅	文学部10回(1962年)卒で哲学を学びドイツ語を学んだ筆者の山形大学創成期の学生生活の様子が詳しく、今は違う往時の雰囲気が出てくる。卒業後郷里の北海道に帰り全国紙の地方記者として活躍し社会活動などの他、読書遍歴による本の紹介もある。
	紺谷 友昭 著 思想の科学社	

3	図書館魔女の本の旅	著者は、図書館学を修めた人文学部1回(1971年)卒のエッセストである。本だけでなく映画や旅を通じた人生の物語とも言える。多くの本を紹介している。その他にも、「図書館魔女は不眠症」など本に関する著書多数。
	大島 真理 著 郵研社	

4	科学と人間の 不協和音	東日本大震災による原発事故を契機に、科学と人間社会の関係を論じている。大学での研究と研究費が問題となっているが、研究者と研究費の提供者との関係についても資本主義の観点から論じている。科学する学生諸君に読んで欲しい。
	池内 了 著 角川Oneテーマ21	

5	日本集合論	筆者によれば、集合というのは破壊しないこと排除しないこと両立し難いものを無理やり両立させること、相容れざるものの渾然と複雑に混じりあった異なるものの集合は他者への寛容であるという。世界的な分析や意見の衝突が顕著となってきている昨今、重要な視点である。
	内田 樹 著 ミシマ社	

6	異邦人	人間の不条理を描いたカミュの代表作。主人公の異常な行動を、取り巻く人々は不条理とするが、裁く人々の行動にも不条理を感じさせる。現代に起こる色々な事件についても考えさせる。人間を考えるためにも読んでほしい本。
	カミュ 著 新潮文庫	

7	共同幻想論	学生運動が激しかった(1968年)に出版され、当時の学生に大きな影響を与えた。「国家」とは、「共同体」とは、「法」とはを問い質し、国家と個人との関係を考察した本(先崎彰吾)。著者は、山形大学工学部の前身である米沢工業専門学校を卒業(1944年)している。
	吉本 隆明 著 河出書房新社 角川文庫	

8	最強の人生指図書 佐藤一斎「言志四録」 を読む	佐藤一斎は、幕末の儒学者で幕府の昌平坂学問所昌平塾の儒官(総長)を勤めた。「言志四録」は、西郷隆盛始め維新の志士たちが心酔した本である。人生で大切な生き方知恵を教えてください。この本は、現代にこそ必要な教養を解説してくれる入門書。
	斎藤 孝 著 祥伝社新書	

9	イザベラ・バードの 日本紀行(上)(下)	開国間もない1878年に、日本を旅した英国女性の紀行文である。原著は3冊、訳本は10冊以上あり、その多くは「日本奥地紀行」の題名で親しまれている。明治初期の自然・産業・文化・教育などの様子について、鋭い観察力と豊かな表現力で臨場感あふれる本である。米沢盆地が「東洋のアルカディア」、山形が「文明開化の最先端のまち」などと称賛されている。近年バードは異邦人としての価値が高まっている。県内に6つの記念碑がある。
	イザベラ・バード 著 時岡 敬子 訳 講談社学術文庫	

10	チョウはなぜ飛ぶか	日高敏隆さんは、チョウは「なぜ飛ぶか」との視点からチョウの観察を始め、生涯にわたり実験検証した動物行動学者です。ひとつの「なぜ」が、新たな「なぜ」を引きおこし広がっていく世界をユーモアあふれる文章で、生き生きと楽しく語っています。チョウの視点で読み進むうち、いつの間にか読み手はチョウを飛び越え、エビデンスを求め、ウィズコロナ時代を生きる私たちの人生をも見つめてみたくなる本です。
	日高 敏隆 著 岩波少年文庫	

11	令和3年度版 中学校教科書 技術・家庭 技術分野 「テクノロジーに希望をのせて」	なぜ大学生に中学校の教科書を推薦?理由は2つあります。一つは、今後10年の教育を担う新学習指導要領下の探求的な学習を重視する教科書(学び)を、新しい技術教科書を通して明確に知ることができます。二つ目は、小学校の新たな「プログラミング教育」と連携する中学校技術科の「情報の技術」や、持続可能な社会の構築に必要な「身の回りの様々な技術」など、これからのテクノロジー教育のポイント(内容)が確認できます。
	竹野 英敏 他 開隆堂出版	

12	愛、深き淵より。	星野さんは、新任の体育教師として中学校に赴任。2ヶ月足らずで、クラブ活動指導中に頸髄損傷を負い、首から下の運動機能を失う。人々との交流のため、「口で字を書きたい」という願いを実現し、ずっと付き添ってくれた母の助けで、口にくわえた筆で絵を描き、言葉を添えた詩画を書くようになる。その9年間の入院中の闘病記録と詩画から、苦しみながらも困難に負けずに生きようとする星野さんの姿勢を学んでほしい。
	星野 富弘 著 立風書房	

13	夜と霧	アウシュヴィッツで一番多くの人が自害した日を知っているだろうか。それはクリスマス帰宅がデマとわかった日のことだった。希望を絶たれた人間の脆さ、持てる精神性によって希望を持ち続けた人の強さ、それらを含めて「意味への意志」が読み取れる。頑強と思える人が自ら命を絶ち、家族を思い唇に詩を忘れないような人たちが耐え抜いたのである。自らユダヤ人として囚われ、奇蹟的に生還した心理学者の体験が綴られている。
	ビクトール・E・フランク 著 霜山 徳爾、池田 香代子 訳 みすず書房	

14	若き数学者の アメリカ	招聘されて1年間ミシガン大学での研究生生活と、公募によるコロラド大学で2年間助教授として学生への指導と研究生生活を通じて、世界第一線の研究とアメリカ学生との交流を描いており、29歳の著者の海外での奮闘振りが痛快で涙くましい。エッセイストクラブ賞受賞作品。
	藤原 正彦 著 新潮文庫	

15	タテ社会の人間関係	日本の集団意識は、職業(資格)よりも所属(場)におかれ、さらに、タテ社会であるが故に、親分・子分の関係が重視され、対人関係が何よりも優先すると説いている。日本の終身雇用・年功序列の特色も納得できる。
	中根 千枝 著 中公新書	

16	現代読書法	岩波英和辞典の編集者の一人、高等小学校中退で列車ボーイから独学で、旧制山形高校教授・新制山形大学で英語科主任教授を務めたゆかりの人。読書の楽しさと方法を丁寧に他方面から説明している。
	田中 菊雄 著 講談社学術文庫	

17	漆の美のみのる国	鶴岡市出身・山形師範学校卒業の直木賞作家の最後の作品。借金漬けで領地返上を考えている米沢上杉藩を冷害の中で再建しようと懸命に努力する9代藩主鷹山と家臣達の50年の歩みを描く。漆の実は蠟(ろう)を生産しようとした再建築の一つである。
	藤沢 周平 著 文春文庫	

18	沈黙	江戸時代初期のキリスト弾圧を題材にし、著者のいう「弱者の神」を通して信仰の根源を追求した小説で、主人公が、神の教えに従うか棄教するかでジレンマに悩む姿が強烈なインパクトを与える。キリスト教徒であるなしに関わりなく主人公になりきって読み進めると、手に汗握ったり、息詰まる場面が多くある。小説を読む醍醐味を味わうにはトップクラスの作品だ。
	遠藤 周作 著 新潮社	

19	ものづくり魂	井深大は知る人ぞ知るソニーの創業者で、本田技研の創業者本田宗一郎と共に日本の技術を世界に知らしめ、敗戦した日本に夢と希望を与えてくれた。著書は二部構成で、一部では本田宗一郎のものづくりに賭ける情熱を回顧し、二部は創業時からの同志である盛田昭夫との対談が掲載されている。日本のお家芸であったはずの「ものづくり」の原点に帰ることが、今の海外攻勢で喘いでいる製造業の再生のヒントとなることを示唆している。
	井深 大 著 サンマーク出版	

20	数学する精神 ー正しさの創造、 美しさの発見ー	数学(算数)は学校の教科の一つで、そこで教わる数式や公式、証明など、すべてが絶対的に正しいものと思っていた。しかし、著者は、数学は「神の知」ではなく、音楽や美術などと同様に人間が創造したもので、仮説的、暫定的なものといいい、それ故、数学の「正しさ」と「美しさ」とは何かを追求している。数学の歴史にも触れており、理系・文系を問わず、また数学嫌いや苦手な人でも楽しく読めるのではないかと。
	加藤 文元 著 中央公論新社	

21	どこかの畑の片すみで	温海カブ、ただちや豆、雪菜、カラトリーモ、もつてのほか…。山形県内には130種類以上の在来作物が現存しているようです。生まれも育ちも山形の、元気でたくましく、そして美味しい野菜たち。在来作物についての解説と対談録、作物事典、分布リスト&地図などを網羅した、在来作物がまるごとわかる本。
	山形在来作物研究会 編 山形大学出版会	

22	カラスと人の 巣づくり協定	カラスは昔から人間社会のごく近くで生きている鳥ですが、カラスと人間の関係は悪化の一途をたどっています。典型的な例は電柱の営巣問題。しかしカラスが電柱に多くの巣を作るのには明確な根拠と2つのカラクリがありました。カラスの本音を得ることで共存の道が見えてきます。
	後藤 美千代 著 築地書館	

23	博士の愛した ジミな昆虫	あわただしい時代の今、じっくりと生き物を観察し深く考えることが少なくなくなっています。しかし、昆虫をはじめ自然観察の面白さを知ることは一生の財産になると思います。10名の多様な研究者が、目立たないけれど実は驚きに満ちているジミな昆虫の生態について紹介しています。
	金子 修治・鈴木紀之・ 安田 弘法 編著 岩波ジュニア新書	

24	さくらんぼ君の 観察絵日記	1枚の田んぼにさくらんぼの苗木を植えてた経験をもとに、さくらんぼの花芽が誕生してから収穫・出荷されるまでの1年間の出来事や、さくらんぼの気持ちになって絵日記として描かれています。
	文 粟野 省三 絵 清野 駿之介 大風印刷	

25	データの見えざる手: ウェアラブルセンサが明かす 人間・組織・社会の法則	「幸せ」は計れる・量れる・測れるのだろうか?という問いに、データサイエンスの視点から一つの答えを提案。自分の行動がどのようにして成立しているかを考えるヒントになる。文庫版あり。
	矢野 和男 著 草思社	

26	カペー朝、ヴァロア朝、 ブルボン朝	山大的先輩、直木賞作家の佐藤賢一氏のフランス王朝史3部作。小説ではなく史実にもとづくノンフィクションで、佐藤さんらしい筆致で歴代の王や王妃の人物描写がなされていて、歴史物語として楽しく読めます。
	佐藤 賢一 著 講談社現代新書	

27	FACTFULNESS (ファクトフルネス)	副題は「10の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る習慣」。世の中がとんとん悪くなっていると思っている人、すべてはあらかじめ決まっていると思っている人は必読。
	ハンス・ロスリング他 著 日経BP	

28	伝わるデザインの基本	とても役に立つプレゼン資料作成用マニュアル本だが、使い過ぎに注意!プレゼンで最も重要なのは個性、つまり他人と同じでないこと。だから、マニュアル本どおりに作るのではなく、マニュアルを参考にして「自分のスタイル」を創りだすことが重要。
	高橋 祐麿・片山 なつ 著 技術評論社	

29	ふしぎの国のバード	9で推薦されている「イザベラ・バードの日本紀行」にもとづくマンガ。明治初期の人々の服装や生活がマンガ独特の表現で描き出されています。横浜から出発したバードさんは4巻目で山形に入りました。7巻まで出ています。
	佐々 大河 著 ビームコミックス	

30	友達の数は何人? ダンバー数と つながりの進化心理学	コロナ禍の中で、他者とのつながりの大切さを感じている人にお勧め。自分が日常的に親しく付き合える他人は何人くらい居るのか?進化心理学者の著者が導き出した答えは150人。そのほか、ヒトはなぜ笑うのかなど、さまざまな人間行動の進化的背景を論じて話題になった本。
	ロビン・ダンバー 著 インターシフト	